

▼ネオペルカミンS 注脊麻用 [注]【製造中止】

【重要度】【製造中止】 【一般製剤名】ジブカイン塩酸塩, パラブチルアミノ安息香酸ジエチルアミノエチル塩酸塩 dibuvaine hydrochloride, p-butylaminobenzoyl diethylaminoethyl hydrochloride 【分類】高比重調節脊髄麻酔剤

【単位】▼3mL/A

【常用量】1～3mL

【用法】くも膜下腔に注入

【透析患者への投与方法】透析後はヘパリンの影響があるため慎重投与 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】パラブチルアミノ安息香酸ジエチルアミノエチル塩酸塩 0.12%, ジブカイン塩酸塩 0.24%含有. 塩化ナトリウムによってヒト脳脊髄液より高比重に調整した脊髄麻酔用局所麻酔薬. 局所麻酔効力が強く麻酔時間が長い. 効力はコカインの約2倍, プロカインの約48倍, 持続時間はコカインの約2倍, プロカインの約9倍.

【主な副作用・毒性】ショック, アナフィラキシー, 振戦, 血圧低下, 痙攣, 過敏症など

【代謝】エステラーゼや組織中の酵素により, O-脱ブチル体や水酸化体などに代謝されるが, 詳細は不明 (1)

【排泄】ジブカインは尿中および糞便中排泄 (1) 尿中回収率: 代謝物を含め 16.2%で未変化体は 1.1% (腰麻, 10hr まで) (1)

【蛋白結合率】88～97% (1)

【MW】ジブカイン塩酸塩 379.92, パラブチルアミノ安息香酸ジエチルアミノエチル塩酸塩 328.88

【透析性】データなし (1) 除去されにくいと思われる (5)

【備考】局麻剤の中毒の対策は予防に勝るものはなくこれには最大用量内にとどめる. 血管内注入を避ける. 中毒症状, 特に初期症状 (多弁, 口唇のしびれ, 手足の熱感) を見逃さないことが大切である.

【更新日】20151201

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。